

中澤康浩センター長が 2015 年度熱測定学会学会賞を受賞

日本熱測定学会の 2015 年度学会賞が当センターの中澤康浩センター長に授与されました。熱測定学会学会賞は、熱測定分野における技術進歩・学術研究等において顕著な業績または功績のあった個人あるいはグループに与えられるもので、中澤康浩センター長の「強い電子間相互作用を示す分子性化合物の熱力学的研究」にかかわる業績が認められたものです。

第 51 回熱測定討論会（東京電機大学埼玉鳩山キャンパス）の会期中、10 月 8 日に受賞講演が行われました。講演では、中澤グループで次々に開発された微小試料用の緩和型熱量計の紹介とともに、数多ある業績のなかから熱容量測定が主導的な役割を果たしたいくつかの研究が判りやすく解説されました。d 波超伝導体の異方性ギャップの研究においては、ノードの存在する方向でのゼロギャップから連続的にギャップが変化している様子（状態密度）をみごとに熱容量から描き出し、d 波超伝導が実在することを証明しました。また、なかなか実現が困難なスピン・フラストレーションをもつ平面三角格子反強磁性体を有機電荷移動塩がその格子の柔らかさを生かし自己最適化して実現すること、そしてその熱容量が連続励起の特徴をもつことから基底状態が P. W. Anderson が提唱したスピン液体であることを示し、聴衆にあざやかな印象を与えました。翌 10 月 9 日の第 42 回通常総会で授与式があり、木村隆良熱測定学会会長より記念の盾が手渡されました。

（中野元裕）

